

## 9日 水曜

### エレミヤ

30:1 主からエレミヤにあったみことばは、次のとおりである。

30:2 イスラエルの神、主はこう仰せられる。「わたしがあなたに語ったことばをみな、書物に書きしるせ。

30:3 見よ。その日が来る。・・主の御告げ。・・その日、わたしは、わたしの民イスラエルとユダの捕われ人を帰らせると、主は言う。わたしは彼らをその先祖たちに与えた地に帰らせる。彼らはそれを所有する。」

30:4 主がイスラエルとユダについて語られたことばは次のとおりである。

30:5 まことに主はこう仰せられる。「おのきの声を、われわれは聞いた。恐怖があつて平安はない。

30:6 男が子を産めるか、さあ、尋ねてみよ。わたしが見るのに、なぜ、男がみな、産婦のように腰に手を当てているのか。なぜ、みな顔が青く変わっているのか。

30:7 ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。

30:8 その日になると、・・万軍の主の御告げ。・・わたしは彼らの首のくびきを砕き、彼らのなわめを解く。他国人は二度と彼らを奴隷にしない。

30:9 彼らは彼らの神、主と、わたしが彼らのために立てる彼らの王ダビデに仕えよう。

30:10 わたしのしもべヤコブよ。恐れるな。・・主の御告げ。・・イスラエルよ。おののくな。見よ。わたしが、あなたを遠くから、あなたの子孫を捕囚の地から、救うからだ。ヤコブは帰って来て、平穩に安らかに生



き、おびえさせる者はだれもない。

30:11 わたしがあなたとともにいて、・・主の御告げ。・・あなたを救うからだ。わたしは、あなたを散らした先のすべての国々を滅ぼし尽くすからだ。しかし、わたしはあなたを滅ぼし尽くさない。公義によって、あなたを懲らしめ、あなたを罰せずにおくことは決してないが。」

主はただ怒りだけで罰するお方ではありません。「わたしは、わたしの民イスラエルとユダの捕われ人を帰らせる」とあるように、あわれみの愛を持ったお方です。これまで、敵の王に仕えるようにと命じた主ですが、このようにその先をも見据えたことなのです。

主に従わないことで、自ら困難を招くようなこともあるかもしれません。そのような時も、主は変わらず愛の主です。従いましょう。主からのさばきのような時でさえ、主に回復があることを知って、主に望みを託しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

